

KAYABA RALLY TEAM

2026 ALL JAPAN RALLY CHAMPIONSHIP REPORT #1

2026/2/27~3/1 愛知県蒲郡市

Rd.1

RALLY三河湾2026

Supported by AICELLO



スペシャルステージ

SS数: 16

路面: ターマック / 一部グラベル

総走行距離: 246.56 km

SS距離: 73.12 km

LEG1 2/28(土) 天候: 晴れ / 路面: ドライ

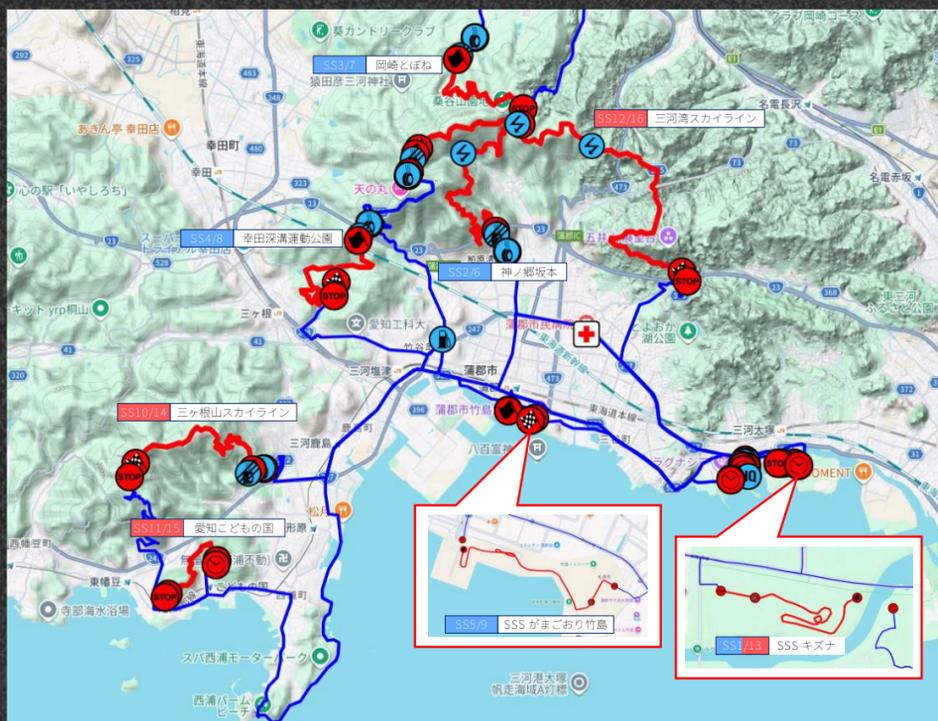
SS1	SSS キズナ 1	0.60 km
SS2	神ノ郷坂本 1	6.88 km
SS3	岡崎とぼね 1	6.57 km
SS4	幸田深溝運動公園 1	4.80 km
	SERVICE A (45 min)	
SS5	SSS がまごおり竹島 1	0.87 km
SS6	神ノ郷坂本 2	6.88 km
SS7	岡崎とぼね 2	6.57 km
SS8	幸田深溝運動公園 2	4.80 km
SS9	SSS がまごおり竹島 2	0.87 km
	SERVICE B (60 min)	

LEG2 3/1(日) 天候: 晴れ / 路面: ドライ

	SERVICE C (15 min)	
SS10	三ヶ根山スカイライン 1	4.38 km
SS11	愛知こどもの国 1	2.38 km
SS12	三河湾スカイライン 1	10.08 km
SS13	SSS キズナ 2	0.60 km
	SERVICE D (30 min)	
SS14	三ヶ根山スカイライン 2	4.38 km
SS15	愛知こどもの国 2	2.38 km
SS16	三河湾スカイライン 2	10.08 km

SS1/13	NEW SSS キズナ	トヨタ自動車株式会社が蒲郡市に保有する、非舗装路のテストコースを使用したステージ。昨年と異なるレイアウトとなり、ドーナツターンなどよりテクニカルなレイアウトになった。
SS2/6	神ノ郷坂本	2024年で採用されたステージの前半部分を走行する。低中速コーナーが主体で、道幅が狭い。日当たりが悪く、水曜日に降った雨により所々に湿りが残る。
SS3/7	岡崎とぼね	2025年と同一ステージ。前半は曲がりくねった狭い林道を走行し、後半で高速コーナーが続く三河湾スカイラインに合流する。リズム変化への対応が重要なステージ。
SS4/8	幸田深溝運動公園	2025年と同一ステージ。三河湾スカイラインを下り、深溝運動公園の周囲を走行する。前半セクションは非常に高速で、中盤からは直角タイトコーナーが続く。車が跳ねる凹凸も多く、危険箇所も多いステージ。
SS5/9	SSS がまごおり竹島	蒲郡駅近くの竹島埠頭を使用したステージ。3年連続で採用されたステージとなり、広いエリアで観戦可能なラリー三河湾恒例のステージとなる。サイドブレーキを使用して小回りするサイドターンの精度がタイムの肝となる。
SS10/14	NEW 三ヶ根山スカイライン	今年初めて採用されたステージ。有料道路の三ヶ根山スカイラインがステージとなる。前半はヘアピンが多く、中盤以降は車速が一気に上がる。路面は比較的綺麗だが、ブラインドコーナーも多くペースノットの精度が特に重要。
SS11/15	NEW 愛知こどもの国	今年初めて採用されたステージ。西尾市内に位置する遊園地「愛知こどもの国」の園内を走行するステージ。多くの観戦ポイントがあり、サイドターンを使用するコーナーも多い。短いステージながらドライバーの技量が試される。
SS12/16	三河湾スカイライン	2025年と同一ステージ。三河湾スカイラインをフルコースで走行。本大会で最長のSSとなる。片側1車線の道路で、キャッツアイやセンターポールなどの障害物の処理も重要。

全体図



チーム体制



監督: 榎本 一憲
 ドライバー: 石黒 一暢
 コ・ドライバー: 穴井 謙志郎
 メカニック: 長江 将典 / 増谷 大志
 松田 幸也 / 三國 大河
 エンジニア: 古川 優太
 マネージャー: 池戸 敬也
 チームアドバイザー: 奴田原 文雄 (NUTAHARA Rally Team)
 メカニックアドバイザー: 山田 淳一 (RUTS RACING)

リザルト

リタイア (JN-1クラス10台 / 総合87台 参加)

LEG1: クラス8位/総合11位 LEG2: リタイア

クラス	No.	Dr.	Co-Dr.	参加車両名	車両型式	車両区分	LEG 1										LEG 2						総合計	クラス順位	総合順位				
							SS1	SS2	SS3	SS4	SS5	SS6	SS7	SS8	SS9	Penalty	合計	SS10	SS11	SS12	SS13	SS14				SS15	SS16	Penalty	合計
JN-1	2	新井 大輝	坂井 理崇	R2R×YAHAGI GR Yaris Rally2	MXPA12	Rally2	0:41.5	6:26.8	5:00.6	3:04.4	0:45.0	6:23.9	4:52.4	3:01.1	0:44.5		31:00.2	2:44.9	1:42.4	5:03.0	0:39.1	2:44.0	1:40.9	4:58.4		19:32.7	50:32.9	1	1
JN-1	1	勝田 範彦	保井 隆宏	GR YARIS Rally2	MXPA12	Rally2	0:41.4	6:33.6	5:02.5	3:11.0	0:45.5	6:31.2	4:56.5	3:06.1	0:44.4		31:32.2	2:46.2	1:42.9	5:10.6	0:39.3	2:46.6	1:41.4	5:09.1		19:56.1	51:28.3	2	2
JN-1	4	鎌田 卓麻	松本 優一	Castrol TEIN DL SKODA	ABCUFX11	Rally2	0:40.4	6:40.7	5:11.4	3:13.2	0:45.3	6:36.4	5:00.0	3:07.2	0:44.6		31:59.2	2:45.5	1:43.7	5:01.2	0:38.5	2:44.4	1:41.7	4:59.3		19:34.3	51:33.5	3	3
JN-1	3	奴田原 文雄	東 駿吾	ADVAN KTMS GRヤリスRally2	MXPA12	Rally2	0:41.7	6:45.7	5:12.3	3:07.0	0:46.5	6:35.2	5:04.1	3:06.4	0:45.9		32:04.8	2:48.6	1:45.2	5:07.7	0:41.0	2:47.2	1:43.0	5:02.7		19:55.4	52:00.2	4	4
JN-1	5	福永 修	齊田 美早子	スミロン☆焼肉ふじ☆CTE555ファビア	ABDKZX11	Rally2	0:41.8	6:55.1	5:22.2	3:17.3	0:45.2	6:47.0	5:09.2	3:11.1	0:44.2		32:53.1	2:52.6	1:44.3	5:23.7	0:39.6	2:48.6	1:42.0	5:17.3		20:28.1	53:21.2	5	5
JN-1	8	大竹 直生	橋本 美咲	MATEX-AQTEC DL GR Yaris Rally2	MXPA12	Rally2	0:41.3	7:05.7	5:14.3	3:11.2	0:46.0	6:49.5	5:08.9	3:10.5	0:45.1	00:50.0	33:42.5	2:46.1	1:43.2	5:03.9	0:40.2	2:46.4	1:41.3	5:01.8		19:42.9	53:25.4	6	6
JN-3	16	小泉 敏志	加勢 直毅	DL クスコ ドリームドライブGRヤリス	GXPA16	RJ	0:43.1	6:55.6	5:30.4	3:30.9	0:48.0	6:55.6	5:26.6	3:27.0	0:47.3		34:04.5	2:55.7	1:52.3	5:34.9	0:44.0	2:55.5	1:48.3	5:22.1		21:12.8	55:17.3	1	7
JN-3	14	内藤 学武	大高 徹也	YH TEIN GRヤリス	GXPA16	RJ	0:42.6	7:03.4	5:28.5	3:29.4	0:48.4	7:03.7	5:24.4	3:25.5	0:47.5		34:13.4	2:58.8	1:50.1	5:28.9	0:40.9	2:56.2	1:47.5	5:25.5		21:07.9	55:21.3	2	8
JN-3	13	大倉 聡	豊田 耕司	AISIN GR Yaris DAT	GXPA16	RJ	0:44.6	7:22.0	5:34.8	3:30.1	0:48.7	7:14.4	5:24.3	3:27.0	0:48.2		34:54.1	2:57.7	1:52.1	5:30.9	0:43.4	2:57.0	1:49.6	5:28.3		21:19.0	56:13.1	3	9
JN-3 (MCC)	27	奥井 優介	藤田 めぐみ	CUSCO WM DL GR Yaris	GXPA16	RJ	0:43.6	7:19.7	5:36.5	3:33.4	0:48.0	7:18.7	5:32.6	3:26.6	0:46.9		35:06.0	2:57.1	1:52.0	5:29.6	0:41.7	2:57.4	1:49.1	5:23.9		21:10.8	56:16.8	4	10
JN-3 (MCC)	20	最上 佳樹	小藤 桂一	FIT-EASYZEALGRYARIS	GXPA16	RJ	0:43.0	7:16.1	5:38.0	3:32.0	0:47.7	7:10.6	5:36.7	3:31.9	0:46.8		35:02.8	2:59.4	1:51.6	5:34.1	0:41.4	2:55.8	1:47.7	5:24.7		21:14.7	56:17.5	5	11
JN-1	9	松岡 孝典	竹下 紀子	MATEX-AQTEC DL GR Yaris JP4	GXPA16	JP4	0:45.5	7:16.5	5:34.7	3:36.9	0:50.6	7:03.9	5:27.3	3:29.6	0:48.6		34:53.6	3:00.6	1:54.9	5:35.9	0:46.9	3:00.8	1:49.8	5:30.8		21:39.7	56:33.3	7	12
JN-3	12	員原 聖也	西崎 佳代子	ADS多賀製作所K1カヤバGRヤリスDL	GXPA16	RJ	0:45.1	7:21.2	5:38.7	3:29.1	0:48.9	7:16.1	5:37.4	3:26.8	0:47.3		35:10.6	2:59.3	1:51.0	5:31.7	0:43.4	2:56.1	1:49.9	5:33.4		21:24.8	56:35.4	6	13
JN-3	18	徳尾 慶太郎	枝光 展義	DLクスコitzzフォルテックヤリス	GXPA16	RJ	0:44.0	7:12.7	5:33.6	3:33.1	0:48.0	7:13.3	5:37.6	3:33.2	0:47.3		35:02.8	3:02.1	1:52.3	5:37.0	00:42.1	03:00.3	01:51.2	5:30.5		21:35.5	56:38.3	7	14
JN-1	6	石黒 一輔	穴井 謙志郎	カヤバ YH GRヤリス	GXPA16	JP4	0:44.4	7:20.5	5:27.1	3:51.9	0:47.9	7:01.7	5:24.8	3:28.4	0:47.7		34:54.4	2:55.4	R							-	-	-	リタイア

LEG 1

SS1 SSS キズナ 1 0.60 km

走行タイム 0:44.4 ステージ順位: クラス 8位 / 総合 16位 合計タイム順位: クラス 8位 / 総合 16位

今シーズンから、レース等で採用実績のあるカヤバ製電動パワーステアリングユニットを新たに採用。事前テストでは試せていないグラベル路面での初走行となった。パワーステアリングの設定がグラベル路面に合わない箇所があり、360度ターンの挙動が不安定となった。また、昨年度も苦しんだ駆動系の不具合が再発。前輪駆動となったことで失速しタイムは伸びない結果となった。



SS2 神ノ郷坂本 1 6.88 km

走行タイム 7:20.5 ステージ順位: クラス 8位 / 総合 15位 合計タイム順位: クラス 8位 / 総合 14位

昨年も前輪駆動となるトラブルは発生しており、エンジンのON/OFFでリセットすることができたが、SS2では不具合を解消できずスタート時点から前輪駆動となる状況。後輪のトラクションを得ることができず、車両の加速力不足と挙動の不安定さに苦戦するもステージ完走。JN-3クラス（今年からクラス区分が変更となり、昨年までのJN-2クラスはJN-3クラス区分へと変更された）のGRヤリス上位選手に先行を取られる展開となった。

SS3 岡崎とぼね 1 6.57 km

走行タイム 5:27.1 ステージ順位: クラス 7位 / 総合 7位 合計タイム順位: クラス 7位 / 総合 11位

全区間で駆動系の不具合は発生せず。ステージ序盤でコ・ドライバーのノートロスト（どこを読めば良いかわからなくなる事象）が発生してしまうも、走行ペースを維持し走行。最小限のロスでコ・ドライバーも復帰し、以降は攻めの走りに徹した。先手を取られていたJN-3のマシンより速い、総合7位のタイムを記録、合計タイム順位も3つ上げた。パワーステアリングもモードを変更し好感触。



SS4 幸田深溝運動公園 1 4.80 km

走行タイム 3:51.9 ステージ順位: クラス 8位 / 総合 34位 合計タイム順位: クラス 8位 / 総合 17位

再度駆動系トラブルが発生してしまい、挙動が不安定な状態で臨んだステージ。序盤は片側1車線の三河湾スカイラインの一部を走行し、車速が非常に高くなる。丘越えをしながら旋回する緩い右コーナーを時速190kmで走行した瞬間にリアの挙動が暴れ、姿勢を崩してしまいスピン、奇跡的にコースに留まって停止した。スピン時に車両の右前と右後を足回り部品が損傷するも、競技を続行。このスピンにより20秒ほどロスし、大きく順位を落とした。

SERVICE (45min)

SS5 SSS がまごおり竹島 1 0.87 km

走行タイム 0:47.9 ステージ順位: クラス 7位 / 総合 9位 合計タイム順位: クラス 8位 / 総合 17位

サービスAにて破損部品を修復、駆動系部品も新品に交換して臨んだ。車両は不具合無く動作し、2度のサイドターンも無難にまとめ、コンマ秒の争いのなか総合9位の順位を記録。毎年恒例のステージとなった「がまごおり竹島」の埠頭ステージには多くの観客が集まった。



SS6 神ノ郷坂本 2 6.88km

走行タイム 7:01.7 ステージ順位：クラス 7位 / 総合 9位 合計タイム順位：クラス 8位 / 総合 13位

序盤中盤と好調に走行していたものの、後半に再度駆動系の不具合が発生。タイトターン立ち上がりで前輪駆動の傾向が強くなってしまい、再びトラクション不足に悩まされることとなった。SS2よりも18.8秒のタイムアップを果たしたものの、不具合は部品交換だけでは完全に解消しないことが明確となった。



SS7 岡崎とぼね 2 6.57km

走行タイム 5:24.8 ステージ順位：クラス 7位 / 総合 9位 合計タイム順位：クラス 8位 / 総合 10位

駆動系の不具合は現れず好調に走れたステージ。ペースノートの見直しもあり、コース全域で安定して走行。前半は狭くツイスティな林道区間、後半は道幅が広く速度域も上がる三河湾スカイラインというコース設定に対し、速度域に合わせリズムよく走行でき、SS3から2.3秒のタイムアップ。



SS8 幸田深溝運動公園 2 4.80km

走行タイム 3:28.4 ステージ順位：クラス 7位 / 総合 14位 合計タイム順位：クラス 8位 / 総合 11位

SS4で危険なスピンを喫したコーナーでは注意しつつ攻めの走行。SS4から23.5秒のタイムアップとなるも、タイトコーナーの進入を失敗しリバースギアを使う場面もあり、ステージ順位は総合14位に沈む。

SS9 SSS がまごおり竹島 2 0.87km

走行タイム 0:47.7 ステージ順位：クラス 7位 / 総合 14位 合計タイム順位：クラス 8位 / 総合 11位

LEG1最後のステージ。短いステージではあるが、路面の摩擦係数は低く、コーナーの進入で失敗すると大きくタイムダウンしてしまう難しさも。SS5よりも0.2秒タイムアップとなるが、他選手はさらに速い走行を披露、総合14位のステージ順位となる。SS4のスピンの合計タイム順位を総合17位まで落とすも、着実に順位を上げていき、LEG1を総合11位で終えた。



LEG 2

SS10 三ヶ根山スカイライン 1 4.38km

走行タイム 2:55.4 ステージ順位：クラス 7位 / 総合 7位 合計タイム順位：クラス 7位 / 総合 9位

新規ステージとなる三ヶ根山スカイラインは片側1車線で道幅が広い。昨年までは、片側1車線の広いステージではあまり上位タイムを取れず苦手意識を持っていたが、コース特性に合わせた車両セッティングと、高い完成度のペースノートを作成でき、今回のラリーで最高位タイとなる総合7位のタイムを記録。JN-1の最高峰マシンに迫るペースで走行し、合計タイム順位も9位まで上げた。



SS11 愛知こどもの国 1 2.38km

走行タイム **リタイア** ステージ順位：クラス - / 総合 - 合計タイム順位：クラス - / 総合 -

普段は子どもたちが遊びまわる遊園地を舞台とした新規ステージ。サイドターンを使用する鋭角コーナーが多く、上り下りの勾配も激しい。ステージには多くの観客が押し寄せ、安全確保のためにスタート時間が遅延するハプニングも。タイヤとブレーキが冷えた状態で慎重にスタートするも、コース終盤の中速複合コーナーにて、進入速度が速すぎてしまい車両がスライドしてコースオフ。崖から落ちる寸前で止まるも、タイヤが土砂でスタックしてしまい脱出できず、リタイアとなってしまった。



MEMBER'S VOICE

DRIVER 石黒 一暢 - Ishiguro Motonobu -



オールカヤバ体制でのJN-1クラス挑戦は3年目を迎えました。昨年は全戦完走を果たしましたが、今年目標は安定感に加えスピードも追求したく、オフシーズンのドライビングスキル向上はもちろん、車両側についても、駆動系不具合の改善、サスセッティングの見直し、ステアフィール向上とアシスト安定化のためカヤバ製スポーツEPSの採用など、チーム一丸となって様々なアップデートを施して挑みました。

序盤は駆動系不具合の再発やEPSチューニングのアンマッチなどもありペースが伸び悩みましたが、車両の調子がいいステージではトップに食らいつくようなペースを刻めたステージもあり、着実に良くなっていることが確認できました。それだけに、SS11でリタイアしてしまったことについては、申し訳なさや悔しい気持ちで一杯ですが、すべてがまとまれば良い結果につながる可能性を感じたラリーでもありました。

気持ちを切り替え次戦SAGA RALLYまでにヒトもクルマもしっかり改善して挑みたいと思いますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

Co-DRIVER 穴井 謙志郎 - Anai Kenshiro -



人財育成をラリー参戦活動の目的の一つとするカヤバラリーチームでは、定期的にチームメンバーの交代を予定しています。私たち初代クルーは2024年より活動を開始し今年で3年目、最終シーズンとなる予定です。集大成のシーズンを幸先良くスタートしたかったものの、昨年以上を目指して挑んだ結果、リタイアから始まる1年となってしまいました。応援いただいた皆様のご期待に応えられず、非常に悔しく感じています。車両の不具合も完治せず、メカニックも悔しさを噛み締めた一戦となりました。それでも、まだシーズンは始まったばかりです。今年も一戦一戦の経験を糧に改善を積み重ね、更なる成長を目指していきます。また今年も新メンバーも加わり、チームとしてさらにパワーアップできるよう、一丸となって取り組んでまいります。

今年全日本ラリー選手権は昨年より1戦追加され、新たに福島県での開催が予定されています。全国各地の皆様には私たちの活動を見て楽しんでいただき、そしてカヤバという会社をより身近に感じていただけるよう、全力で挑戦してまいります。まずは次戦の佐賀ラウンドに向け、気持ちを切り替えて挑みます！

ENGINEER 古川 優太 - Furukawa Yuta -



私は2011年にカヤバ株式会社へ入社して以来、自動車のサスペンション開発に携わりたいという思いを持ち続け、社内公募制度を活用してモータースポーツ部へ異動しました。2026年シーズンより KAYABA Rally Team のエンジニアとして JN-1 クラスに挑戦しています。

第1戦 Rally三河湾2026 は初めての現場対応でしたが、車両トラブルを抑え切れず、サービス中の判断やコミュニケーションにも課題が残りました。特に駆動系不具合の再発や減衰調整の煮詰め不足など、本来エンジニアとして防ぐべき点を十分に対処できなかったことは大きな反省です。一方で、トップに迫るペースを示せたステージもあり、チームと車両のポテンシャルを強く感じました。次戦に向けては今回の反省を踏まえ、サスペンションやタイヤを含む車両全体の理解を深め、セットアップの精度と再現性を向上させていきます。また、モータースポーツで得た知見を確実に製品開発へ還元できる技術者を目指し、一戦一戦全力で取り組んでまいります。

NEXT RALLY

4/3~5 佐賀県多久市

SAGA RALLY NATIONAL CHAMPIONSHIP 2026 SUPPORTED BY BLUE BATTERY caos

Special Thanks

IK 伊勢湾海運株式会社

CHITA

Takako

Fukoku Tokai

山二産業株式会社

Taiyo 大洋商事

カーメック

株式会社サイキ

OGISON

株式会社 甲山製作所

HJK
株式会社平原精機工業

TOSHIDA
KOGVO CO., LTD

UTSUE
UTSUE SEIKI CO., LTD.

NSSI
NAKAGAWA SPECIAL STEEL INC.

三正工業株式会社



株式会社 東海技研

金山カヤバ株式会社

Covalent

IKO 日本トムソン

株式会社 興亜組

林愉快 研究所

AIDO METAL

自由工業

宝駒鋳金工業株式会社

NUTAHARA
RALLY SCHOOL

YOKOHAMA

KTMS

HKS

BRIDE

LAILE

CERAMETA

MOTOR SPORTS OIL
FORTEC

PIAA

AQTEC
INTERNATIONAL

BELL
HELMETS

TONE

Mizuno

SPK

TCZ ADVANCE
TAKEKAWA CHEMICAL LABORATORY

PROSPEC

カヤバラリーチームの活動は
各種SNSにて発信しています。

Instagram



@kybcorporation

X



@KAYABA_KYB

YouTube



@kyb_official

KYB
Our Precision, Your Advantage

カヤバ株式会社